

| | | | |
|--------------|---------------------|-------------|-------------------|
| 3類型 | 農林水産物、観光資源 | 通巻番号 | 2-28-006 |
| 地域資源名 | 大間マグロ、大間港、大間崎、大函丸など | 認定日 | 平成28年10月14日 |
| 地域 | 青森県大間町 | 所管省庁 | 農林水産省、経済産業省、国土交通省 |

事業名: 下北半島大間町の農林水産資源を核とした観光ツアー及び関連商品の開発、販売事業

会社名: Yプロジェクト株式会社 (法人番号3420001013641) 所在地: 青森県下北郡大間町大字大間字蛇浦道11-7
 連絡先: TEL: 0175-37-5073 H P: <http://yproject.co.jp/>
 FAX: 0175-37-3926

事業概要(地域産業資源の活用)

「大間マグロ」はテレビなどで紹介され、全国的なブランドとなったが、地域への経済効果は限られたものであった。そのため、地域おこしの収益事業を法人化し、地域経済への波及効果の高い着地型の観光事業への取り組みを強化する。本事業では、大間の農林水産物、暮らし・人など、大間のすべてを活用したツアーを実施して観光客を誘致するとともに、地場産品の物販事業等を行い、自社の経営基盤の強化を図る。本事業により連携事業者への波及効果も期待できる。



【大函丸】



【マグロ解体ショー】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

国内観光の形態は、団体旅行・宴会型から、個人や家族による目的を持って参加し、リピートする体験型、交流型へと大きく変わっており、地域資源を活用して開発する新商品の市場性はあると見込まれる。

◆需要の開拓の方針

販促ツールを整備し、ネット通販に本格的に取り組むとともに、集客力の高い函館からフェリー大函丸で訪れる顧客の開拓を行う。

◆商品の特性

大手旅行会社が企画する「大間マグロ」を食するだけのツアーとは違い、生活者ならではの視点で大間の幅広い魅力を伝えるツアー企画であり、物販事業の商品も地場の関連する事業者と開発するこだわりのもので十分競争力はある。

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

津軽海峡圏域で面的、多発的に事業を展開するメンバー72名による「津軽海峡マグロ女子会」は、それぞれがプロデュースした観光プログラムを同時多発的に展開しており、広報・集客活動を津軽海峡マグロ女子会のメンバーと一緒に推し進める。



【浜まぢあるき】